【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成21年5月14日(2009.5.14)

【公表番号】特表2009-513238(P2009-513238A)
【公表日】平成21年4月2日(2009.4.2)
【年通号数】公開・登録公報2009-013
【出願番号】特願2008-537687(P2008-537687)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　16/04　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　16/04　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成21年3月23日(2009.3.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
気管チューブであって、
呼吸ルーメン、前記呼吸ルーメンを介しての換気を同時に可能にしつつカニューレの外部の声門下領域を吸引するためのポートの内部で終端する吸引ルーメン、及び前記吸引ルーメン内において前記ポートの近位で終端する洗浄ルーメンを備えるカニューレと、
前記ポートを選択的に閉鎖し、前記吸引ルーメンから前記声門下領域への液体移動を防止する閉鎖機構と、
前記閉鎖機構を選択的に開閉させるための作動手段とを備える気管チューブ。
【請求項２】
請求項１に記載の気管チューブであって、
前記閉鎖機構は、前記カニューレの軸方向に沿って延びユーザー操作可能端部で終端するスライド可能部材に取り付けられたプラグを含み、
前記ユーザー操作可能端部は前記前記作動手段を含むことを特徴とする気管チューブ。
【請求項３】
請求項１に記載の気管チューブであって、
前記閉鎖機構は、少なくとも２つの位置の間で移動可能な面を有し、前記面への液体の衝突に反応して移動可能なスライド可能部材を含み、
前記面は、前記作動手段を含むことを特徴とする気管チューブ。
【請求項４】
請求項３に記載の気管チューブであって、
前記洗浄ルーメン洗浄液の前記作動手段への衝突により、
前記スライド可能部材が前記ポートから離間している第１の位置から、前記スライド可能部材が前記ポートを閉鎖する第２の位置への、前記スライド可能部材の移動が引き起こされるようにしたことを特徴とする気管チューブ。
【請求項５】
請求項１に記載の気管チューブであって、
前記閉鎖機構は、前記ポートの内面に対向して設置されることを特徴とする気管チューブ。
【請求項６】

請求項１に記載の気管チューブであって、
前記吸引ルーメンと前記声門下領域との間の正差圧によって、液体が前記声門下領域に入らないように前記ポートを密閉するようにしたことを特徴とする気管チューブ。
【請求項７】
請求項１に記載の気管チューブであって、
前記閉鎖機構は、膨張時に前記ポートを塞いで閉鎖する可膨張性バルーンを含む
【請求項８】
請求項１に記載の気管チューブであって、
前記閉鎖機構は、任意のプラグ、カバー、バルブ、及び可膨張性バルーンの単一又は組み合わせを含むことを特徴とする気管チューブ。
【請求項９】
請求項１に記載の気管チューブであって、
洗浄液を前記洗浄ルーメンに導入し通過させるための洗浄液源を含むことを特徴とする気管チューブ。